

2026年9月25日

【NEWS RELEASE】

各位

兵庫県神戸市中央区播磨町 21 番1

株式会社さくらケーシーエス

みなと銀行・神戸経済同友会共催「地域創生(および金融教室)出前授業」に登壇 ～兵庫県立姫路商業高等学校で「地域創生におけるDXの役割」をテーマに授業を実施～

株式会社さくらケーシーエス(本社:兵庫県神戸市、取締役社長:加藤 貴紀、以下「さくらケーシーエス」)は、2026 年 9月 14 日、地域貢献活動の一環として、みなと銀行・神戸経済同友会共催「地域創生(および金融教室)出前授業」に講師企業として参加しました。

本取り組みは、株式会社みなと銀行(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:持丸 秀樹、以下「みなと銀行」)および一般社団法人神戸経済同友会(以下「神戸経済同友会」)が共催するプログラムです。兵庫県立姫路商業高等学校2年生を対象に、地域創生と金融教育をテーマとし、生徒によるディスカッションや企業による講義を通じて、社会や経済への理解を深めることをねらいとした探究学習として実施されました。

さくらケーシーエスは、このプログラムの一環として、「DX(デジタル化)は、地域の課題を解決するためにどのような役割を果たせるか?」をテーマとしたDXに関する授業を担当しました。「地域創生DX」を進めていくうえで、AI活用は欠かせないものと考えています。その一方で、AIを単なる便利な道具として捉えるだけでなく、どのように向き合い、どのような場面で人が責任を持って判断するのかを考えることが重要であるという点も、今回の授業を通じて生徒の皆さんと共有しました。

今後も、地域と連携しながら、このような取り組みを通じた地域貢献や次世代人材への学びの機会づくりに継続して取り組んでまいります。

1. 地域創生(および金融教室)出前授業の目的

本授業は、「みなと銀行・神戸経済同友会共催 地域創生(および金融教室)出前授業」として、次の目的のもとに実施されました。

目的	企業の先駆的な取り組みや地域活性の取り組みを聞き、現在の社会的課題を解決する思考力を養う。 また、金融に関する健全な意思決定を行うための知識や技術、態度を養う。
----	---

さくらケーシーエスは、兵庫県で創立し神戸・姫路に拠点を構える情報サービス企業として、本取り組みへの参加を地域貢献活動の一環と位置づけています。DXや生成AIの活用例を紹介しながら、地域課題にDXを生かす視点や、AIと関わる際の基本的な考え方を共有することで、生徒が今後の学びや進路、社会との関わり方を考える際の一助となることを目指しました。

2. さくらケーシーエス出前授業の概要

さくらケーシーエスは、DXの現場でのAI活用例を紹介することをねらいに、AIエージェントを活用したプログラム開発からテストを自動実施する様子をご紹介しました。AIが自動化する点、人が検証する点を確認することで、現在のシステム開発現場におけるAIエージェントの活用イメージを高校生の皆さんにもわかりやすく伝えました。

あわせて、「地域創生におけるDXの役割」を主題に、ITやAIの活用によって自治体や地元企業の仕事の進め方が変わることや、新しいサービスやビジネスが生まれることで、地域に新たな仕事生まれる可能性についても説明しました。地域創生におけるIT・AI活用を軸に、DXが地域の暮らしや働き方にどのような変化をもたらす得るのかを、ワークショップ形式で生徒の皆さんと一緒に考える内容としました。

1	会社概要:さくらケーシーエスについて
2	AIについて(AI活用における人間が担う役割、生成AI/AIエージェントを安全に使うためのルール)
3	地域創生とDXによる地域活性化、地域創生ワークショップ



3. 登壇者コメント

今回、みなと銀行・神戸経済同友会の皆さまにお声かけいただき、地域の高校生の皆さんと一緒に、地域の課題やDXの役割について考える機会を持てたことを大変ありがたく感じています。

授業では、AIエージェントのデモも交えながら、「AI活用において人がどのような役割を担うのか」「AIを使うときにどのような点に気を付けるべきか」といった点に加え、AIの可能性だけでなく、悪用されたときにどのような犯罪リスクやトラブルが生じ得るかについても触れました。便利さの裏側にあるリスクを理解したうえで、正しく活用する視点を持つてほしいという思いをお伝えしました。

また、「地域創生×DX」という視点から、デジタルの力で地域の仕事やサービスのあり方がどう変わり得るのかについても、一緒に考える時間となりました。本取り組みの中で、生徒の皆さんからも身近な地域の「困りごと」やアイデアが多く出され、私自身も新たな気づきを得ることができました。地域のことを自分ごととして捉え、真剣に考える姿勢がとても印象的でした。

今回の経験が、生徒の皆さんがこれから社会や進路を考えていくうえで、「将来、自分の仕事や学びの中で、DXやAIを使ってどんなことに挑戦したいか」「どんな地域で、どんなふうに働きたいだろうか」といったことを考えるきっかけになれば幸いです。また、今回の内容をきっかけに、DX・情報サービス業界や地域の仕事に興味を持つ生徒さんが一人でも増えれば嬉しく思います。今後も、地域の皆さんと一緒に考える場づくりに継続して取り組んでいきたいと考えています。

執行役員 産業事業部副事業部長 山根 美貴子

以 上

■ 商標等について

記載されている各社の企業名、製品名、サービス名は各社の商号、商標または登録商標です。

記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付加していません。

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社さくらケーシーエス IR・広報室
TEL:078-391-6571